

季節によるアルコール飲料の消費量について

新井一平
飯田剛史
岡崎翔一
吉田健太郎

研究動機

去年二十歳になりアルコール飲料が飲めるようになり、アルコールのことを調べたら、近年 20 代の飲酒量が減っているということがわかった。このことから我々はアルコール飲料の消費量を調べ、現段階でわかったことをまとめた。

研究内容

アルコール飲料の季節ごとの消費量を調べたところ、冬に急激に消費量が増えていることがわかった。今回は冬に重点を置き、さらにその中で変動が大きい清酒、ワイン、ビールを調べた。

原因として、全体的に祝い事などで消費されていることがわかった。

日本酒は新酒の出荷がちょうど冬時期であり、この時期のものは格段に質が高い。また日本酒は米が原料で、その米の収穫時期との兼ね合いや、寒い冬は品質に悪い影響を及ぼす雑菌の繁殖がしにくいためだと考えられる。

ワインはボージョレ・ヌーボの影響が一番だと考えられる。